

【No. 1】 ラーメン店に関する次の記述のうち、**最も不適当なものはどれか。**

1. 屋台で評判を得た人がその後固定店舗を開設し、ラーメン専門店に転じた例も多く意匠面を優先しがちであるが設備面においても配慮したと計画する
2. 独立路面店では、給排水、換気、排煙が取れる隣接境界線までのチェック、ビル内立地では、給排水設備の供給に気をつける必要があり、設備工事は工事費および完成後の機能にも影響する
3. 店内の給気が悪い場合、来客者に不快をあたえたり、一酸化炭素中毒を起こす事故に結びつくケースもあり、このことから特に給水設備計画には十分に配慮した厨房計画が大事である
4. 設備計画は、特に給排気計画に配慮する必要がある。強い火力を必要とするため、熱気、蒸気がこもりやすく換気が不十分だと厨房内がサウナ状態になる

答. 3

【No. 2】 焼肉店に関する次の記述のうち、**最も不適当なものはどれか。**

1. 上引きフードは目の前にフードがきて会話等に支障があるが、フードはなるべく大きいものが必要となる
2. コンロのフードは、客からしてみると邪魔であるが料理の味からすると肉を煙で燻して焼く上引きフードが望ましい
3. 厨房用排気ファンと客席コンロ用排気ファンは、別々に分けて設置する
4. 通常レストランの空調容量は $370\text{w}/\text{m}^2$ であるが、焼肉店では $500\text{w}/\text{m}^2$ が必要である

答. 1

【No. 3】 中国料理店に関する次の記述のうち、**最も不適当なものはどれか。**

1. 食事の作法は、古くは座敷であったが、宋代になると一皿形式になり、現代のような大きなテーブルを囲み、椅子に腰掛けて食事をする方式となった

2. 個室は、円形テーブルを用い大皿料理を分け合って食べる和合ともいうべき形態をとることが多い
3. 平面計画の基本では、店舗面積が50坪の店の場合であると厨房面積は30%ほどの比率になる
4. デシャップ（パントリー）から一般席へのサービス動線と宴会室へのサービス動線は重なる事が多い

答. 4

【No. 4】 商店街に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 商店街とは、経済産業省の商業統計表では、「小売店・飲食店及びサービス業等を営む事業所が近接して40店舗以上あるもの」と定義している
2. 商店街タイプの定義としては、「近隣型商店街」、「地域型商店街」、「広域型商店街」、「超広域型商店街」の4つのタイプに大別される
3. 商店街タイプのうち、1商店街あたりの平均店舗数が最も少ないのは「近隣型商店街」である
4. 商店街の抱える問題の一つに、「経営者の高齢化による後継者問題」が挙げられる

答. 1

【No. 5】 下表の(A)～(C)に入る、理容室・美容室に関する次の語句の組み合わせのうち、最も適当なものはどれか。

		理容師	美容師
業務の定義		頭髪の刈り込み、(A) などの方法により容姿を整えることをいう 理容師法第一条第二項	パーマントウェーブ、結髪、化粧などの方法により容姿を美しくすることをいう 美容師法第二条第一項
人数		23万4044人	(B)
店舗数		約12万8000店	約23万4000店
できる仕事	カット	○	○
	ヘアセット	×	○
	メイク	(C)	○

	A	B	C
1. 顔そり	1 万 2000 人	×	
2. 化粧	1 万 2000 人	○	
3. 顔そり	48 万 7636 人	○	
4. 化粧	48 万 7636 人	×	

答. 3

【No. 6】SPAを導入している企業に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. ワールド
2. トレジャー・ファクトリー
3. イケア
4. ファーストリテーリング

答. 2

【No. 7】百貨店に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 2020年～2021年の百貨店業界は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、売上げが減少した業態の一つであるが、2022年蔓延防止策の終了に伴い、売上げは徐々にではあるが回復傾向にある
2. 2022年の百貨店店舗別売上げランキングベスト3は、1位：伊勢丹新宿本店、2位：西武池袋本店、3位：阪急うめだ本店の順である
3. 百貨店のグループ化は、主にホールディングス系、単独資本系、鉄道系に大別されている
4. 百貨店業界では、売上げ減少の打開策の一つとして、ECの売上げを高める戦略の一つとしての「メタバース」の事業参加が行われている

【No. 8】ゼネラル・マーチャндаイズストア（GMS）に関する次の記述のうち、**最も不適当なものはどれか。**

1. GMSとは1910年代にアメリカで出現した大衆実用品の総合店のことである
2. 日本では衣・食・住に関連した商品を総合的に扱う大型スーパーマーケット業態である
3. GMSは、百貨店志向を強める業態や、ディスカウント志向を強める業態といったように細分化が進んでいる
4. 業界首位のセブン&アイ・ホールディングスは全国でGMSの運営会社を経営するほか、マックスバリュなどの大規模店舗も全国に展開している

【No. 9】近年SDGsなどでリサイクルが話題になっているが、リサイクルショップに関する次の記述のうち、**最も不適当なものはどれか**

1. 主に扱われている商品は、衣料、靴、鞆、家具、貴金属・時計、オーディオパソコン類等が多い
2. リサイクルショップは、一度使われたものを再び販売する店であるが、未使用の商品も展示される場合もある
3. 扱われている商品で、圧倒的に人気の高いのは、高級ブランド腕時計である
4. 一般的に、オーディオ機器も安いのが、真空管を利用した機器などは、その希少性や、マニアも多く、高額なものもある

【No.10】物品販売施設に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. S P A型事業モデルはアパレル以外の製造小売業にも幅広く浸透している
2. 家電リサイクル法の対象品目はテレビ、パソコン、冷蔵庫、エアコンである
3. スーパーマーケットやコンビニエンスストアで「セルフレジ」の活用が始まっている
4. 専門店ではローコスト店舗（多店舗企業）と専門特化店との2極化がさらに進んでいる

答. 2

【No.11】さまざまな商業のかたちに関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 人と話し、説明を受け、比較して購入する、といった既存店舗が持っている「現場力の再評価」が注目されている
2. 商品の購入以外の消費活動を店舗に導入することで来店客の減少を食い止める方法を考える必要がある
3. 店舗だけでなくネットショップを併設し幅広く商圈を獲得しようとする店舗が増えている
4. I o T (Internet of Things) が店舗に利用されることはまだ少ない

答. 4

【No.12】商業施設の基準に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか

1. 店舗の用に供される床面積の合計が基準面積 500 m²を超える大規模小売店舗を新設しようとするときは、都道府県に届け出ることが「大規模小売店舗立地法」で定められている
2. 売場面積 500 m²の物品販売施設の場合、主要避難通路幅を 1.6m以上とす

る

3. 「建築基準法」により、店舗の壁、天井等の室内仕上げ（内装）材の性能が定められている
4. 薬局の調剤室面積（内法面積）は 6.6 m²以上でなければならない

答. 1

【No.13】 商業施設の立地調査分析に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 地図情報から多くことが判るため、都市計画図、用途地図、住宅地図等必要に合わせて準備する必要がある
2. 統計情報、通行量など定量的データを収集、分析することは重要である
3. 出店の場合は、出店予定地に必ず出かけ、周辺状況など把握することは重要である
4. 店舗の大きさにかかわらず、最低でも 2 km圏を対象に調査を行う

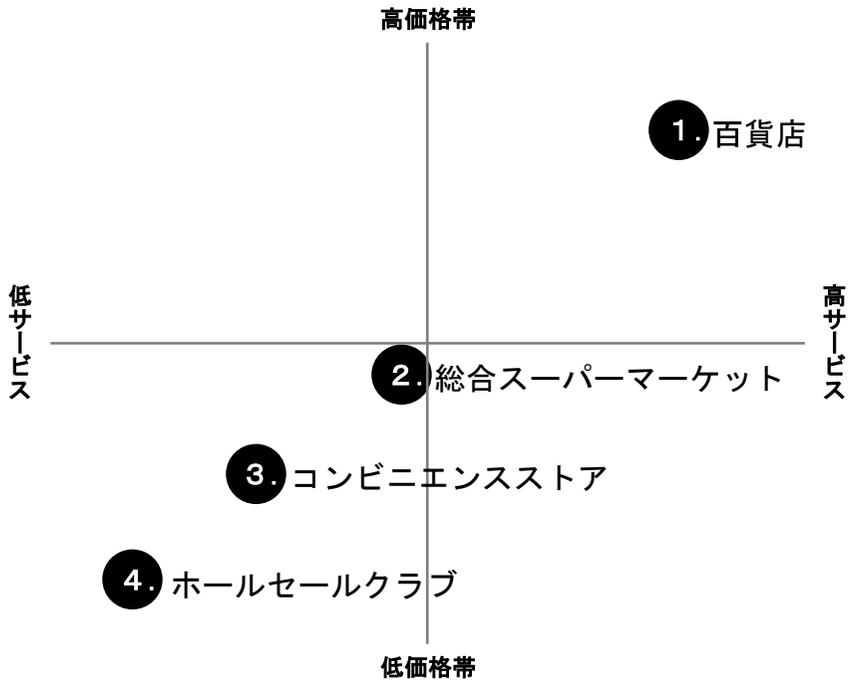
答. 4

【No.14】 商業の立地分類に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 住宅地には、住民の特性を理解し、生活に密着した店舗が必要である
2. オフィス街には、働く人のニーズに合わせ、短時間消費型の店舗よりもバリエーションの豊富な店舗が必要である
3. ロードサイドには、車での寄りつきや駐車場の利便性を重視する必要がある
4. 商業地には、周辺商業施設との相乗効果を生み出す店舗が必要である

答. 2

【No.15】下図において、小売業態のポジショニングに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。



答. 3